

食の感動で、この星を満たせ。

TORIDOLL→

News Release

2024年7月25日

「Marugame Udon」フィリピン 50 店舗達成

世界中のお客さまに食の感動をお届けする
唯一無二のグローバルフードカンパニーの実現へ

食の感動体験を提供する株式会社トリドールホールディングス（東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO 栗田 貴也、以下、トリドール HD）は、讃岐うどん専門店「丸亀製麺（現地名称：Marugame Udon）」のフィリピンでの 50 店舗目となる「Marugame Udon OPUS（オープス）店」を 2024 年 7 月 17 日（水）にオープンしました。同日開催の 50 店舗記念セレモニーには多くのお客さまがご来店いただき、フィリピンでの「Marugame Udon」の人気の高さが伺えるイベントとなりました。



トリドール HD は、グローバル各地での展開における知見やノウハウを持つ事業パートナーであるローカルバディ^{※1}とトリドール HD が培ってきた感動体験店舗を構築するノウハウを活用した協業を進めることで、グローバル展開を強化しています。フィリピンでの「Marugame Udon」の展開も、現地で多くの事業を手がける

Suyen（スーエン）Corporationの子会社であるB.V. CUISINE INC.をローカルバディとしています。今回の50店舗達成は、フィリピン内で多くのブランドの展開を手掛けるスーエングループの現地展開の知見やノウハウと、トリドールHDが持つ丸亀製麺の感動体験を構築するノウハウが組み合わせることで、日本の伝統的な「うどん」文化がフィリピンの地で広まり、深く根づいた結果であると考えています。今後も、スーエングループとともに「Marugame Udon」のフィリピン国内でのさらなる成長をめざします。

■フィリピンでの「Marugame Udon」に関して

トリドールHDは、「丸亀製麺」ブランドの人気を早期に確立し、ASEAN全域で愛されるブランドとして育成することをめざし、2017年8月にフィリピンの首都マニラに1号店をオープンしました。その後、多くのお客さまが集まるショッピングモールを中心に开店し、日本国内と同様に本格的な味わいが楽しめる手づくり・できたての讃岐うどんメニューと、現地の方が食べやすいローカライズしたメニューを提供しています。フィリピンでは主食の米や揚げ物、肉などが好まれる傾向にあるため、丼物を日本より種類豊富に揃え、肉入りのうどんメニューを増やしています。現地の消費者が日常的に利用できる和食となるよう、ファストカジュアルレストランと同等の価格帯で提供し続け、本格的な日本食であることを訴求してきました。その結果、順調に店舗数を拡大し、フィリピンで人気のうどん店となっています。

■50店舗記念のセレモニー

50店舗達成の記念品としてトリドールHDの取締役副社長 兼 COO 杉山 孝史からSuyen CorporationのCEOベン チャン氏にトロフィーが贈られました。「食の感動で、この星を満たせ。」というスローガンをこれからも共に達成していこうという想いが込められています。





トリドール HD は今後も、「食の感動で、この星を満たせ。」をスローガンに掲げ、本能が歓ぶ食の感動体験^{*2}を届けることで、世界中をワクワクさせ続けることを使命に事業を展開してまいります。

*1 ローカルバディ：感動体験に共感した特別な知識とノウハウを持つ世界中の仲間

*2 食欲をそそる香り、料理人の巧みな手仕事、厨房の熱気や目の前で調理される料理、そして、人の温もりを感じる接客。舌で味わうだけでなく、五感で体感する「おいしさ」。



トリドールホールディングスについて

「食の感動で、この星を満たせ。」をスローガンに掲げ、さまざまな業態の飲食チェーンを展開し、味覚だけでなく五感が揺さぶられる、本能が歓ぶほどの感動を探求し続けています。

今後も「食の感動体験」をどこまでも追求し、世界中で唯一無二の日本発グローバルフードカンパニーを目指して、予測不能な進化を遂げるため、国内のみならず海外での展開を積極的に推進してまいります。